# 西濃農林事務所の普及活動状況 令和6年7月

## 今月の重点活動

#### ■農福連携 農福連携西濃地域連携会議の開催

7月 10 日、大垣市西部研修センターで、令和6年度農福連携西濃地 域連携会議を開催した。

大垣市内の2つの福祉事業所から農業に取り組む事例発表、ぎふ農福 連携推進センターから支援制度説明、その後意見交換を行った。市町か らは耕作放棄地等未利用農地の活用提案があり、今後、福祉事業所へ情 報提供していくこととした。

農林事務所では、市町及び福祉事業所など関係機関と連携し、農福連携を支援していく。



【農福連携会議の様子】

## ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■土地利用型作物 土地利用型営農組織の法人化に向けて

輪之内町では、土地利用型農業の担い手である営農組織の法人化へ向けた打合せが行われている (7/27:下大上営農組合)。

今回の会議では、ぎふアグリチャレンジ支援センターから司法書士を招き、定款、規約、目論見書等の内容を検討した。関係機関として輪之内町、アグリチャレンジ支援センター、JAにしみの、農林事務所が活動支援を行っている。

農林事務所は、今後も集落営農組織の法人化へ向けて支援を継続する。



【法人化検討会の様子】

# ■女性農業経営アドバイザー 西濃ブロック視察研修の開催支援

7月4日、西濃ブロック女性農業経営アドバイザーは視察研修を実施 し、(有)花のくまさん(中津川市加子母)代表の熊崎氏を訪問した。 熊崎氏は、全国初の夫婦別経営でシクラメン栽培を行い、現在は食品 加工も手掛けている。起業化の背景や成功談以外に、苦労話や失敗談も 伺い、参加者から多数の質問がある等、有意義な研修会となった。

今回の研修の様子は県公式SNS「ぎふ農業女子」にも掲載された。 秋には、県連の視察研修会も予定されており、農林事務所は引き続き活動を支援していく。



【熊崎氏との対談】

# 安心で身近な「ぎふの食」づくり

#### ■早生水稲・海津市の水田農業担い手 あきたこまちの出穂期の防除

4月上旬に移植した海津市の早期栽培水稲の「あきたこまち」は7月上旬に出穂した。今年の活着と初期生育は順調に経過し、平年より5日程早く出穂となった。

しかし、イネカメムシの発生が多く、出穂した稲に多数の寄生が確認された。海津市では海津市植物防疫協会の支援の下、共同防除が計画・実施されており、7月10日には札野地区でRCへリコプターによるカメムシ防除が行われた。



【RC ヘリでカメムシ防除】

農林事務所は病害虫発生状況を調査し、適期対策を支援している。

### ■下宮青果部会協議会 化学農薬に頼らない防除手段の検討

6月~7月にかけ、農林事務所はJA及びメーカーと連携し、モロヘイヤに対する調合油乳剤のハダニ防除試験を行った。

近年、ハダニ多発が問題となっていることを踏まえた試験であるが、高い防除価 (無処理区との比較) と、薬害も比較的少ないことが確認できた。

モロヘイヤはマイナー作物に分類され、化学農薬の選択肢が少ない。農 林事務所は、今後も化学農薬以外の手段を推進していきたい。



【試験圃場の様子】

### ぎふ農畜水産物のブランド展開

#### ■いちご 西濃地域いちご生産者有志の会勉強会

7月8日、西濃地域いちご生産者有志の会の勉強会が開催された。令和6年度は2名の新規会員が加入し、総勢16名の会となった。

令和5年産は、9月の高温により花芽が遅れ年内出荷量が激減したため、 農林事務所は会員の育苗管理の聞き取りを行い、優良事例を収集した。 農林事務所では、引き続き会の活動を支援していく。



【勉強会の様子】

### ■ナシ 曽根梨部会の目揃え会開催

7月19日、曽根梨部会の出荷目揃え会が、曽根地区公民館で開催され、7月下旬から出荷が始まる「なつしずく」、続いて出荷が始まる「幸水」の目揃えが行われた。

今年のナシは、花粉不足が心配された中、開花期が晴天に恵まれたことから着果は良好であった。農林事務所からは、生育状況、病害虫防除に関する情報提供を行うとともに、今後の黒星病対策について説明した。

また、今後のナシ産地、ナシ経営のあり方について考えるきっかけとなるよう、生産者の高齢化、後継者不足の実情を示した。



【目揃え会の様子】

### ■冬春トマト 海津ビッグデータ活用推進協議会 事業活動報告会

7月9日、海津冬春トマトビッグデータ活用推進協議会は、令和5年度 の事業活動報告会を開催した。

スマート農業推進室及び農林事務所から、事業の活動内容について報告を行うとともに、今年度の活動予定について説明を行った。農業技術センター野菜部からは、スマート農業技術の情報提供として、日射比例潅水システムについて解説が行われた。

農林事務所では、データを活用した技術向上による単収向上に向け、引き続き支援を行っていく。



【報告会の様子】